（公印省略）

入札参加者　各位

令和8年11月11日
8流水第939号

福岡県建築都市部流域下水道事務所長

御笠川浄化センター特高棟改築工事　設計図書に関する質疑回答書

NO	図面番号	質　　疑	回　　答
1	A-63	1.85m盛土転圧の上、敷き鉄板を設置とありますが、遣り方・杭工事・土留工事の施工時に	施工上の安全を確認したうえで変更協議の対応は可能です。
	積算数量書	鉄板を仮撤去する必要があるので、鉄板敷きを表層地盤改良に変更することは可能でしょうか。	
2	なし	工事予定地の廻りに、木杭＋オレンジフェンスネットが設置されておりますが、工事着工まで	通行者の転落防止のため設置しております。安全措置が確保されるまでは
		には撤去されるものと考えて宜しいでしょうか。	残置となります。工事支障となる箇所については本工事で撤去する計画です。
3	S-34	(参考図)仮囲い(H3.00m)設置の記載が有りますが、現在駐車スペース2台分工事	別途工事ですでに施工済です。
		予定地側に設置されているH1.8m金網フェンスの撤去及び仮囲い(H=3.00m)の設置は	
		別途工事と考えて宜しいでしょうか。工事範囲の場合は、明細追記しても宜しいでしょうか。	
4	A-63	コンクリート打設に関して、1フロアー約800㎥の打設となります、計画の仮囲い内にはポンプ車1台しか	御笠川浄化センター施設管理者と調整の上、道路使用は可能です。
		セットできませんので、全面道路にポンプ車をセットすることは可能でしょうか。	

5	A-36	コンクリート打設に関して、1フロアー約800㎥の打設となり、また、内部階段が2回折返しに	打継対策を実施のうえ水平打継は可能です。
		なっているので1回でのコンクリート打設及び型枠建て込みが困難です、水平打継は	
		可能でしょうか。	
6	積算数量書	埋戻し土1,918㎥を仮囲い内に仮置きすることは難しいと思もわれます、場内に仮置き場が有ると	御笠川浄化センター施設管理者と調整の上、未利用地への仮置きは可能です。
		考えて宜しいでしょうか。	
7	S-33	既存杭は過年度基礎杭撤去(104+64本)と有りますので、今回工事には影響なしと考えて	既存杭については杭頭のみ撤去されており、地中部分は残置しております。
		宜しいでしょうか。	今回施工で干渉する既存杭については、全施回オールケーシング施工時や
			掘削時に併せて取り壊すこととなります。
8	積算数量書	積算数量書P17 土工のコンクリートとりこわし(310㎥)は、A-66図の山留支保工部の均し	そのとおりです。
	A-66	コンクリート(H300)・捨てコンクリート(H300)を示すのでしょうか。	
9	積算数量書	工事用の仮設ゲートは、シートゲート(W6000)の図面記載、積算数量書にシートゲート(W6.0×H4.5)	可能です。
	A-63	の記載が有りますが、コンクリートの打設等を考慮してW5.4×H2.0×2台(引分け)クロスゲートに	
		変更は可能でしょうか	